

# 叙勲 瑞宝双光章 受章



(公社) 東京都診療放射線技師会 理事

いちかわ しげじ  
市川 重司

昭和33年11月25日生 (66歳)

## 【経歴】

昭和60年3月31日	東京都診療放射線技師専門学校	卒業
昭和60年6月10日	診療放射線技師免許	取得
平成29年3月31日	鈴鹿医療科学大学大学院 (修士課程)	修了
令和5年3月31日	鈴鹿医療科学大学大学院 (博士課程)	修了

## 【職歴】

昭和60年4月～昭和63年12月	埼玉医科大学附属病院
昭和64年1月～平成13年3月	東京都国民保険団体連合会福生病院 勤務 (平成13年4月公立福生病院へ移管)
平成13年4月～平成18年3月	公立福生病院 医療部放射線科 主任
平成18年4月～平成25年3月	公立福生病院 医療部放射線科 主査
平成25年4月～平成26年3月	公立福生病院 医療部放射線科 課長補佐
平成26年4月～平成28年3月	公立福生病院 医療部放射線科 科長
平成28年4月～令和2年3月	公立福生病院 医療技術部長
令和2年4月～令和6年3月	国際医療福祉大学 教授 勤務
令和6年4月～ 現在	城西放射線技術専門学校 勤務

## 【団体歴】

平成14年4月～令和4年6月	(社) 東京都放射線技師会 理事 (現 (公社) 東京都診療放射線技師会)
令和6年6月～ 現在	(公社) 東京都診療放射線技師会 理事

## 【賞罰歴】

平成7年	(社) 日本放射線技術学会関東部会 学術奨励賞
平成11年	(社) 東京都放射線技師会 学術奨励賞
平成18年	(社) 日本放射線技術学会関東支部 学術奨励賞
平成22年	東京都福祉保健局長 感謝状
平成23年	(社) 日本放射線技術学会 優秀演題賞
令和2年	(公社) 日本診療放射線技師会 地域功労賞
令和4年	厚生労働大臣表彰 (診療放射線業務功労)
令和6年	(公社) 東京都診療放射線技師会 特別功労賞

# 瑞宝双光章受章にあたり

市川重司

令和7年11月3日付けにて、公益社団法人東京都診療放射線技師会のご推薦を賜り、瑞宝双光章を受章いたしました。同月5日には都庁にて伝達式に臨み、同月28日には皇居宮殿にて天皇陛下に拝謁の栄を賜りましたことをご報告申し上げます。身に余る光栄であり、これまでの歩みを振り返りながら、深い感慨を覚えております。

診療放射線技師として長年にわたり国民医療の一端を担い、微力ながら社会に寄与できたことは、私にとってかけがえのない経験であり、このたびの受章はその積み重ねを認めていただいたものと受け止めております。江田哲男会長、高野修彰理事（渉外）をはじめ、技師会の諸先輩方、多くの役員の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

今回の栄誉は決して私一人の力によるものではなく、日々共に働く職場の仲間、技師会の役員・委員の方々、そして常に支えてくれた家族の存在があってこそ得られたものと痛感しております。

昭和60年に免許を取得して以来、医療現場に身を置き、患者と向き合い、日々研鑽を積んでまいりました。令和2年からは技師教育の舞台に立ちました。その間、技師会会務に携わり、多くのことを学び、多くの方々と交流をもつことができました。また学術研究においてもご指導ご協力をいただき、多くの研究成果を出すに至りました。これらすべてが私の大きな財産となっております。

技術・技能は人を支え、社会を動かす大きな力であり、その重要性を改めて実感しております。今後は、これまで培ってきた知識と経験を活かし、若手技師の育成や技術の継承に一層力を注ぎ、医療の発展に寄与してまいりたいと考えております。

末筆ながら、これまでご指導ご鞭撻を賜りました諸先輩方をはじめ、関係各位のご健勝とご多幸、そして東京都診療放射線技師会のさらなる発展を心より祈念申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

## 市川重司先生 瑞宝双光章ご受章 祝辞

会長 江田哲男

このたび会員である市川重司先生が本会からの推薦により、令和7年秋の叙勲「瑞宝双光章」を受章されましたことをご報告するとともに、心よりお祝い申し上げます。

市川先生におかれましては、平成14年より令和4年6月まで長年にわたり本会理事としてご尽力いただき、令和6年から再び理事として本会の教育活動を力強くご支援いただいております。特に「日暮里塾ワンコインセミナー」「MRI集中講習会」など、先生のご企画による多くの研修会は継続的に発展し、今や多くの参加者を惹きつける魅力ある事業へと成長しております。さらに、MRI集中講習会テキストや医学略語辞書の刊行を通じ、教育の発展にも大きく寄与されました。

また、令和3年には第37回日本診療放射線技師学術大会+ AACRT + EACRTの大会実行委員長として指揮にあたり、コロナ感染拡大渦の中、Webを利用したハイブリッド開催を日本診療放射線技師学術大会として初めて実現させております。

中でも、2011年3月に発生した東日本大震災の際には、福島第一原子力発電所事故に伴う被災者のサーベイ活動の第一陣として自ら志願され、全国から終結した12名の一人として福島に赴き、被災住民のサーベイ活動に尽力され、その後の報告会や啓発活動により放射線理解の促進にも大きく貢献されました。

これらの功績が称えられ、平成22年に東京都福祉保健局長から感謝状が授与され、令和2年に日本診療放射線技師会から地域功労賞を授与、そして令和4年に厚生労働大臣表彰を授与されています。

この度の市川先生のご受章は、診療放射線技師としてのご活躍が国民に対し、大きく寄与されたことが高く評価されたものと考えます。今後も市川先生の益々のご健勝をお祈りするとともに今後も本会への更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。